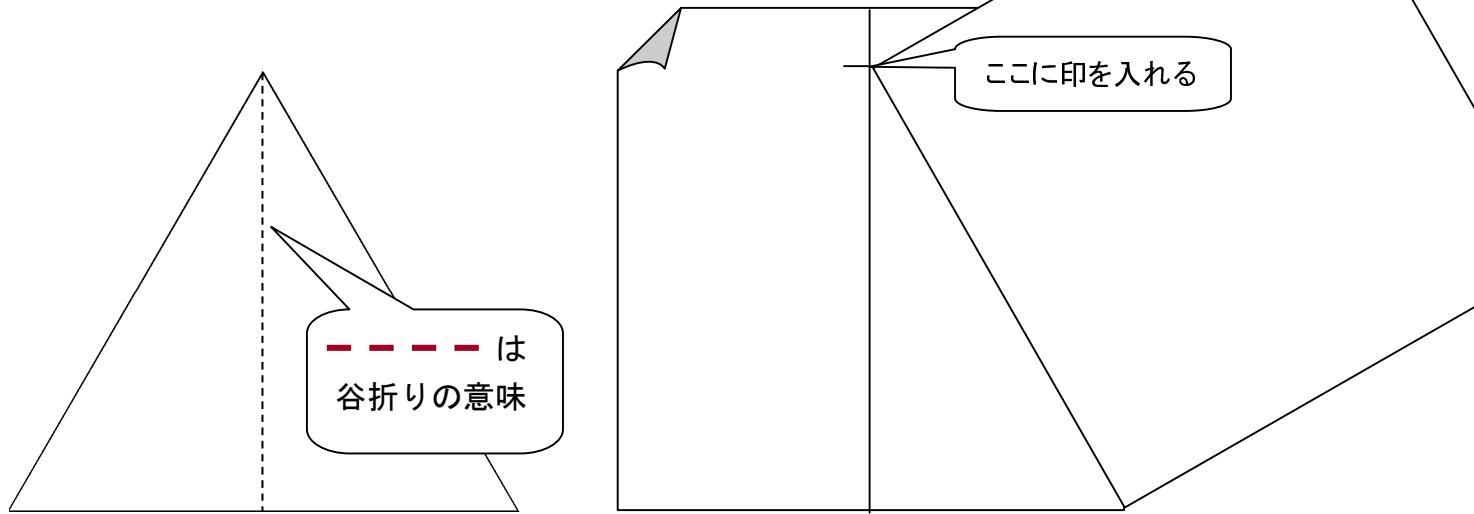


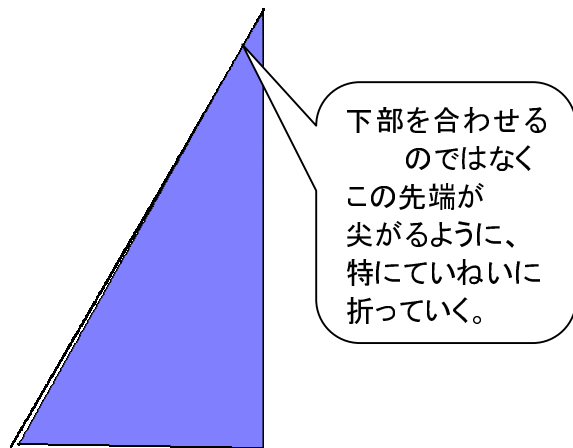
(ユリ科、ヒガンバナ科の花は花弁の数が3の倍数だ……という人のための)

正三角形の折り紙を使ったハナショウブの折り方

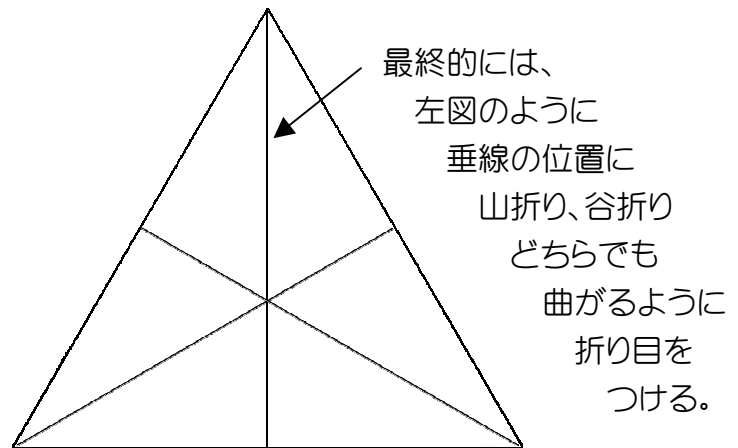
① 正三角形の折り紙を準備する(右図参照)



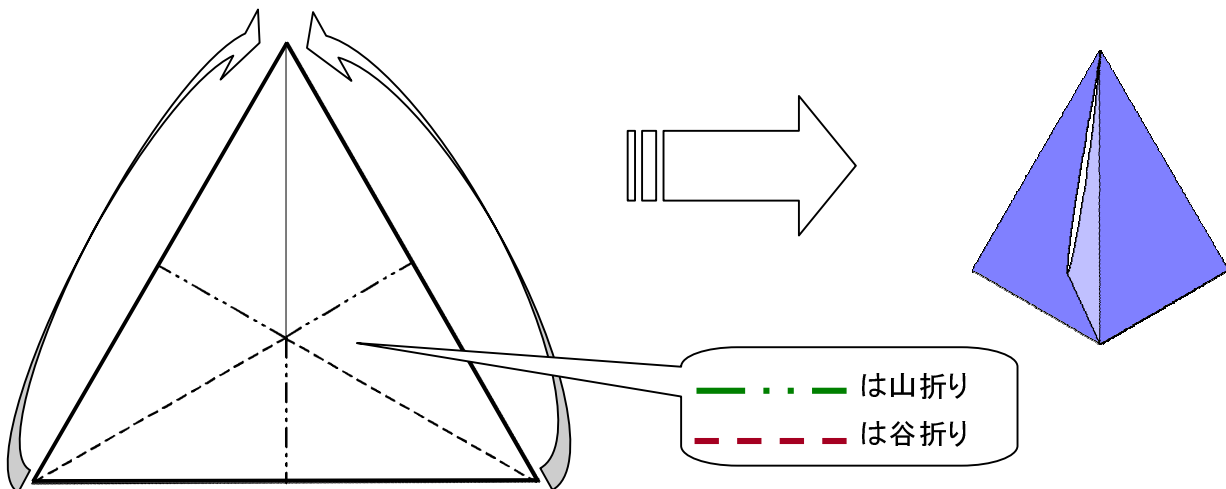
② 二つ折りにする。



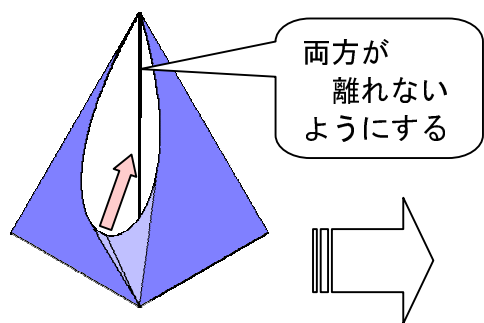
③ ②を広げ、両面ともに折り目をつける。



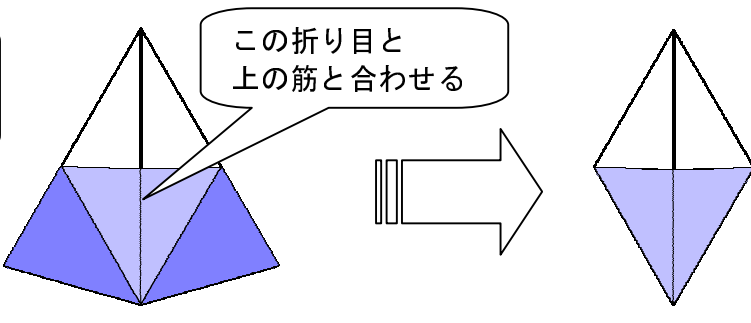
④ 図のように折り、3つの角を1つのまとめる。(この角の部分が花弁になる)



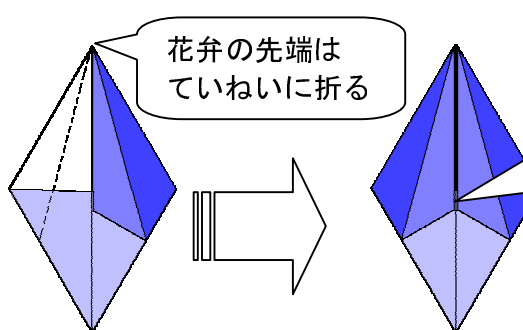
⑤ 図のように袋の部分を広げて折る。



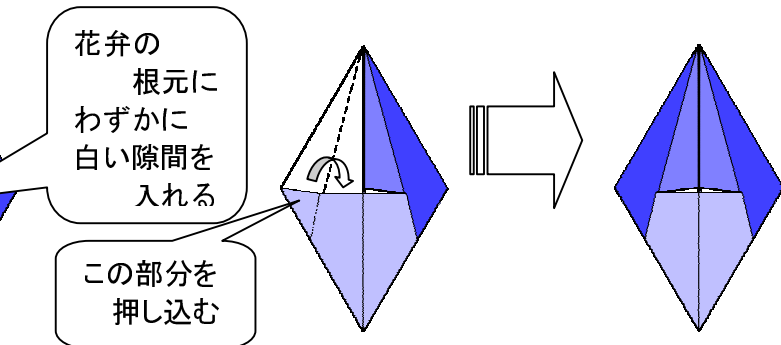
⑥ 3面ともに仕上げる。



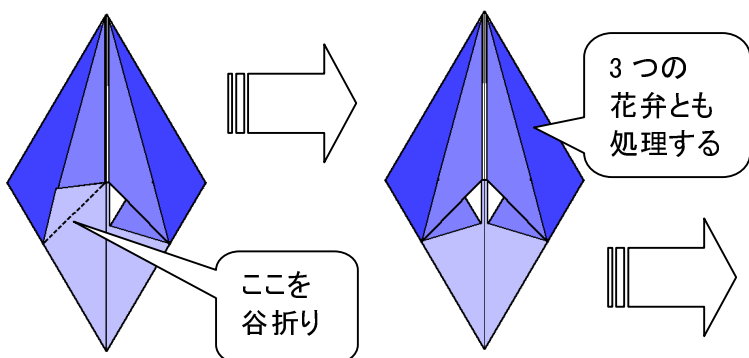
⑦ 花弁の部分に白い筋が入るように折る。



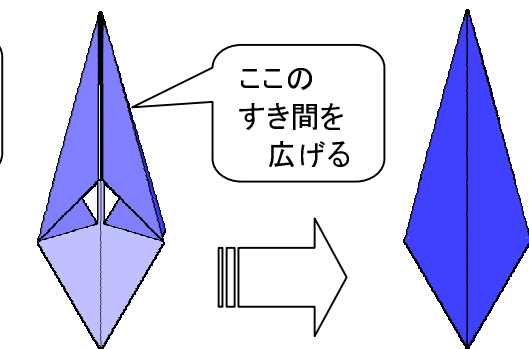
⑧ ⑦を広げ、折り目に沿って押し込む。



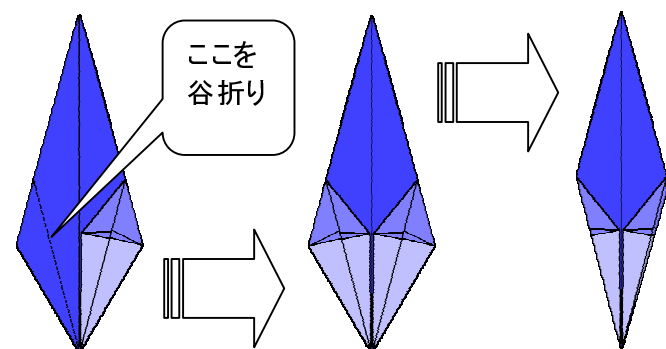
⑨ 内花を作り、3枚の花弁とも仕上げる。



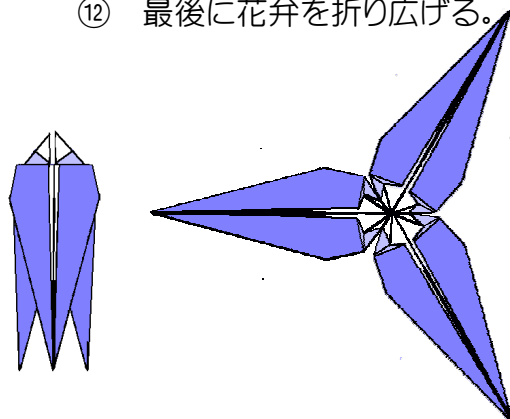
⑩ 内花を隠すように折り花弁の裏を出す。



⑪ 苞の部分を細くする。(3ヶ所とも折る。)



⑫ 最後に花弁を折り広げる。



応用 (次を変化させることで いろんな花が作れるので、ぜひチャレンジしてください。)

⑥:花弁の長さ……外側、内側に折り曲げることで、花弁の長さや雰囲気が変わる

⑦~⑨:花弁の形……花弁の細さ、花弁の間隔、内花の形が変わる。

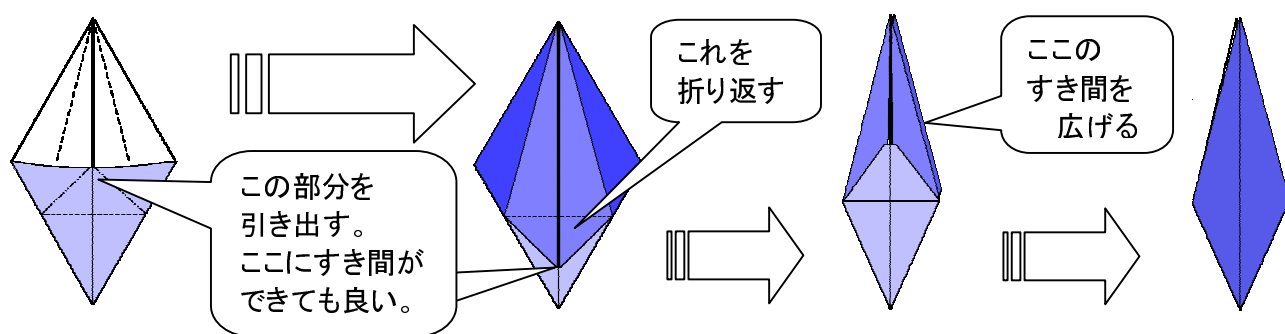
⑪:苞の形……苞の太さ、形を多少変わる。

紙の裏表を逆にして折ると、随分感じが変わります。(茶系統の色紙でも楽しんでください。)

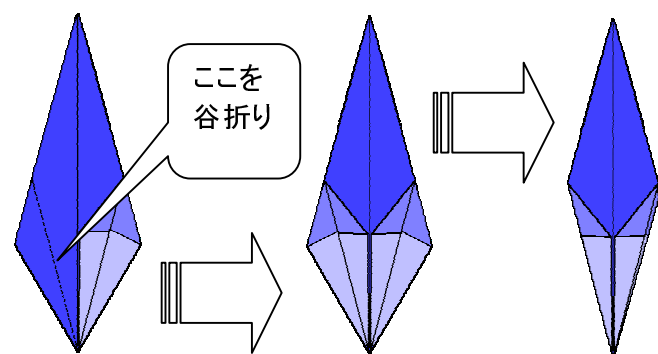
正三角形の折り紙を使ったカキツバタの折り方

ハナショウブと基本的に同じ折り方であるが、⑧～⑨での内花の折り方だけが違う。

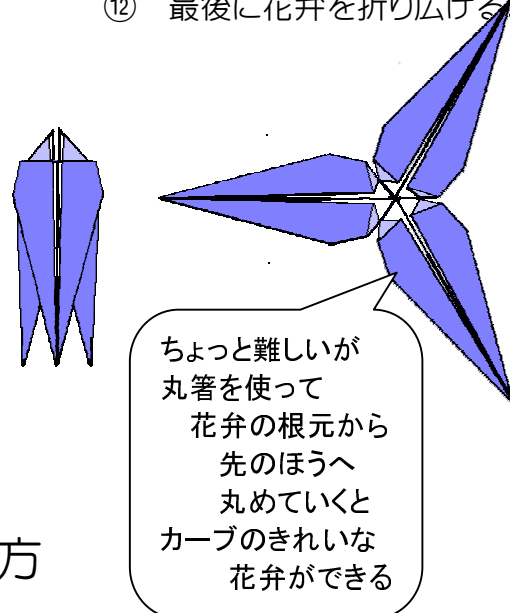
⑧'⑨' ⑦を広げ、図のように三角部分を作り、次いで折り返す。 ⑩' 最後に花弁の裏を出す。



⑪ 苞の部分を細くする。(3ヶ所ともに)



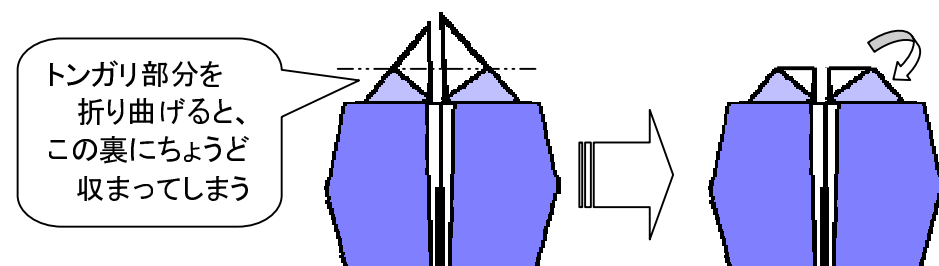
⑫ 最後に花弁を折り広げる。



正三角形の折り紙を使ったユリの折り方

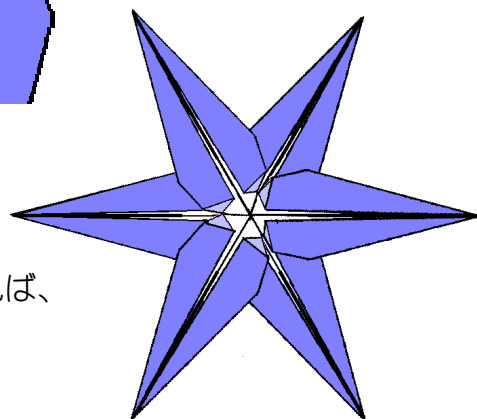
ユリの花の部品製作

同色の折り紙を使って次の<変形ハナショウブ> <変形カキツバタ>の2つの花を作る。
ハナショウブ、カキツバタは、⑫の内花が高すぎるので、図のように外側に折ればでき上がり。



ユリの花の製作

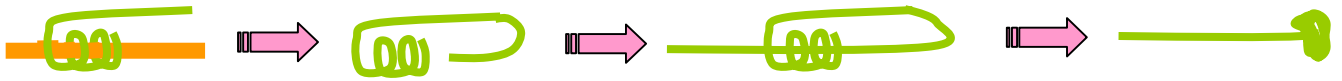
<変形ハナショウブ> の中に、(逆ではダメ)
60° ずらして <変形カキツバタ> を入れれば、
6 弁のユリの花ができあがる。



花茎の作り方

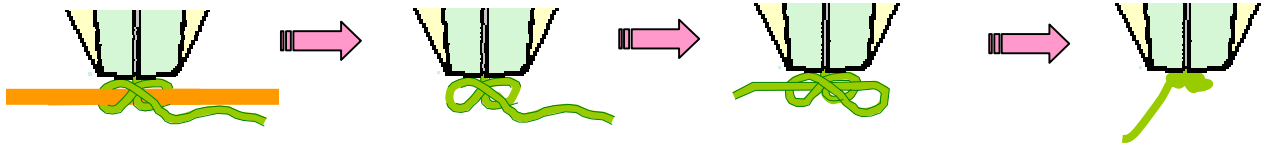
参考:花茎の先端の留め玉の作り方

栽培用の平針金を竹串に2~3回巻きつけ、竹串を抜き、巻きつけた針金の中心の穴に通す。



参考:花茎の留め玉の作り方(花の底面側)

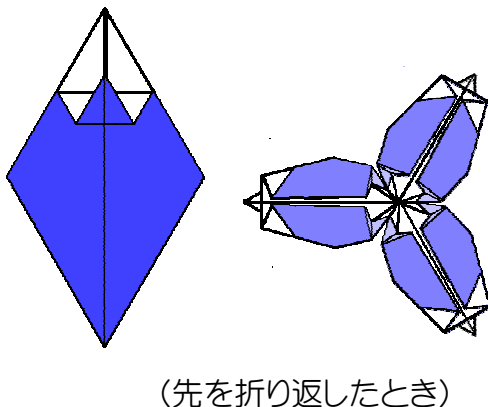
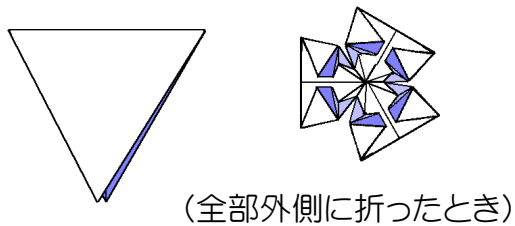
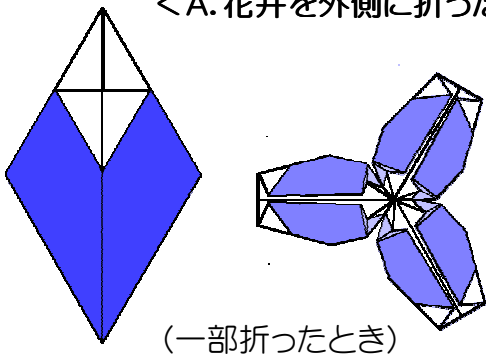
花の底から出てきた針金を図のように竹串に巻き、竹串を抜き、針金を抜いた穴に通し締めつける。



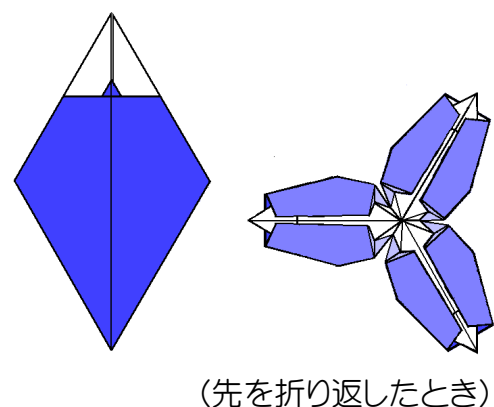
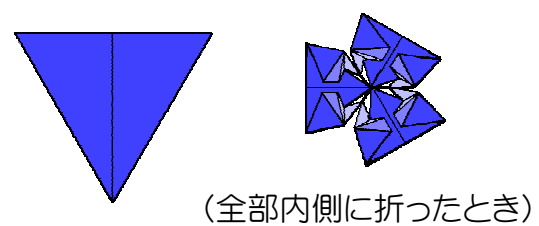
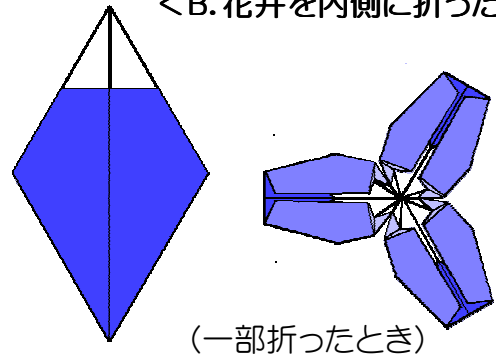
花弁の長さを変える

- ⑥ の状態で裏を出し、花弁の先端を次のように折り、以降同じ手順で仕上げていくと、花の雰囲気が多様化する。この方法で、花びらが6枚のいろいろな花を折ることができる。

<A. 花弁を外側に折ったとき>



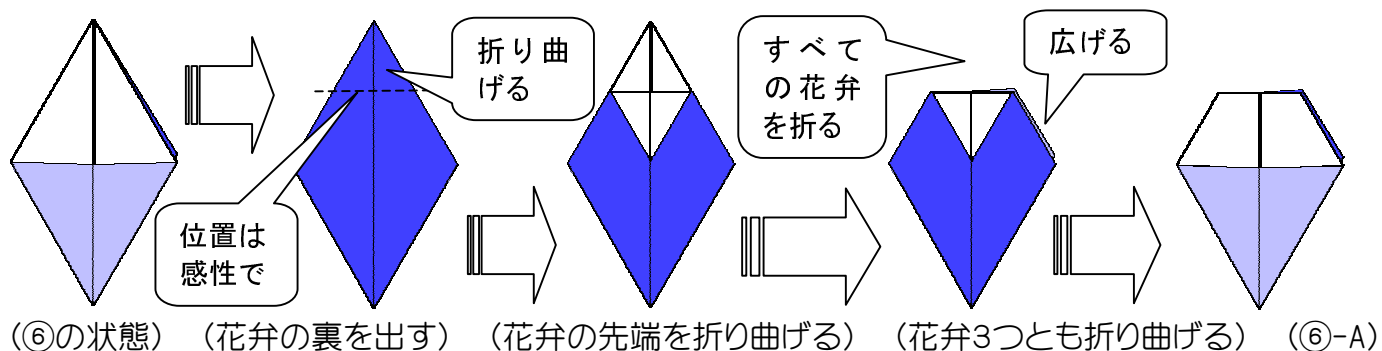
<B. 花弁を内側に折ったとき>



正三角形の折り紙を使った水仙の花の折り方(6枚花弁の応用)

ユリの花の発展系で、花弁の長さを変える方法の一例として水仙を折ってみよう。

- ⑥ の状態で、花卉の裏を出し、適当な長さで折り曲げる。この状態を ⑥-A として⑦以降をヨリと同様の折り方で、＜変形ハナショウブ＞＜変形カキツバタ＞の2種を作る。



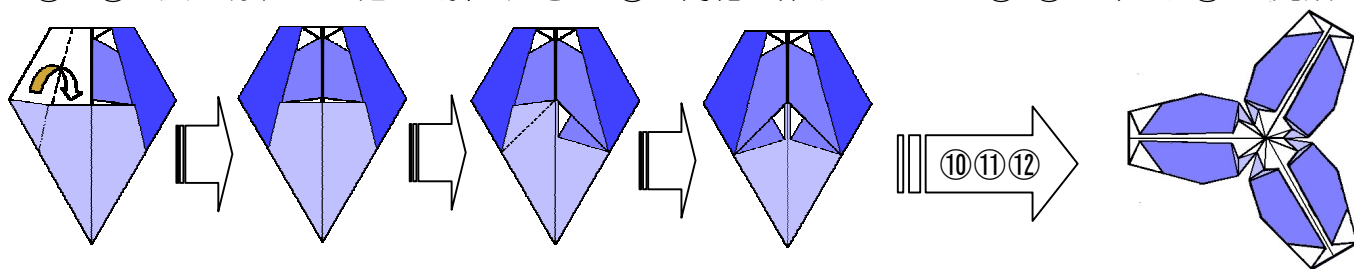
- ⑦ 花弁の部分に白い筋が入るように折り目入れる。



⑧以降 ⑫までは、
ハナショウブ、カキツバタと
同じ折り方で完成させる。
ただし、
⑧⑨だけは折り方の印象が少し
違うので、次に図示しておく。

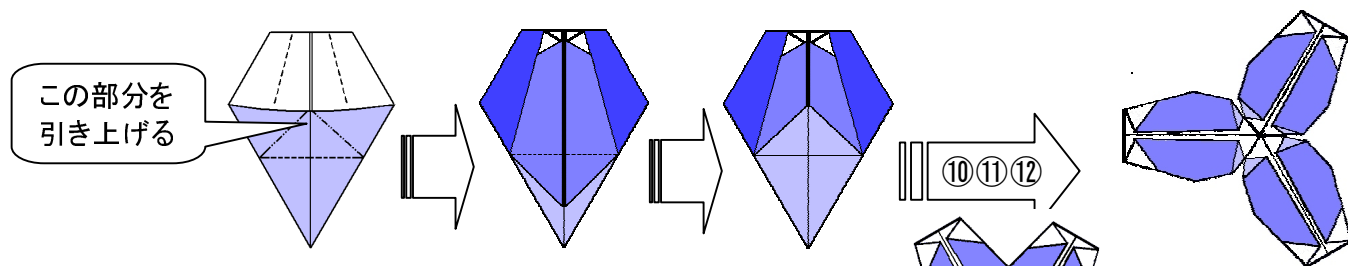
＜その１： ハナショウブと同じ折り方で部品を作る＞

- ⑧ ⑦を広げ、折り目に沿って押し込む。 ⑨ 内花を作る。 さらに ⑩ ⑪ を経て ⑫ で完成。



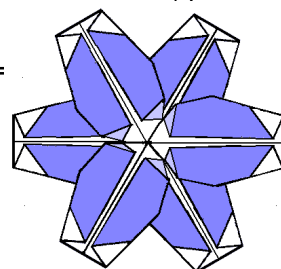
＜その２： カキツバタと同じ折り方で部品を作る＞

- ⑧'⑨' ⑦を広げ、三角部分を作り、次いで上へ折り曲げる。さらに ⑩ ⑪ を経て ⑫ で完成。



＜水仙の製作＞

ユリと同様、＜その1＞の中に 60° ずらして＜その2＞を入れれば水仙ができてくる。

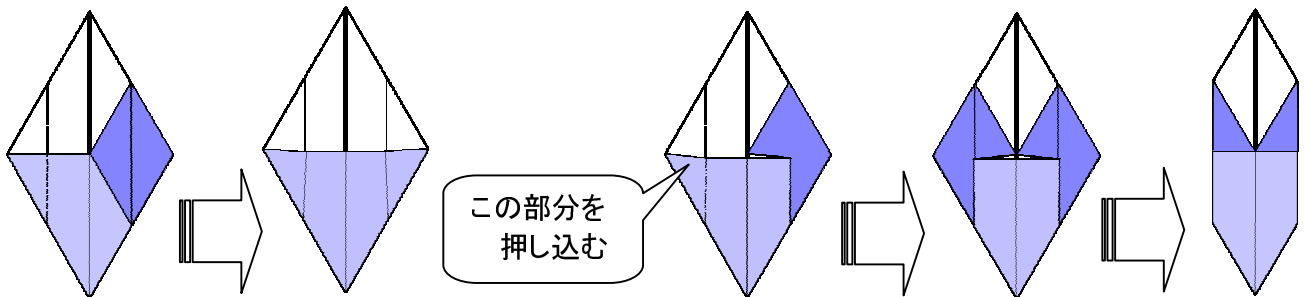


花弁の幅や形を変える

- ⑦ 以降の折り方では折り方によってさらに花弁の雰囲気が変化するので、
ここで例としていくつかを紹介します。

<A. 垂直に折る>

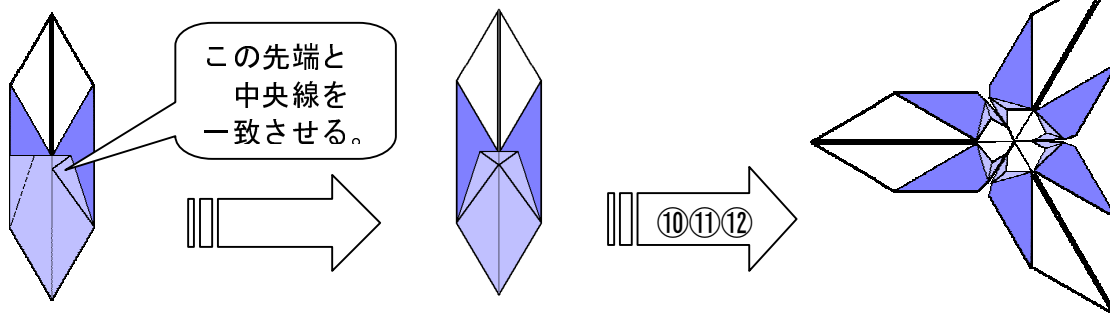
- ⑦ 花弁の縦半分場所に。折り目をしっかりとつける。 ⑧ 折り目に沿って押し込む。



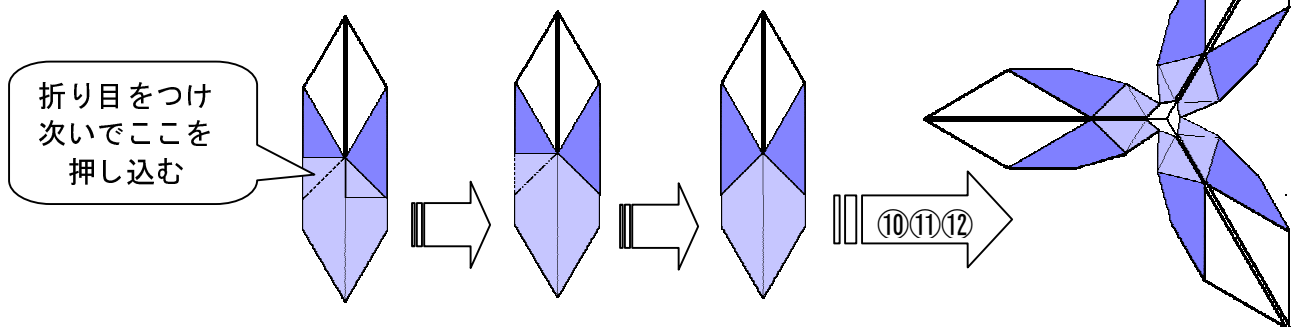
- ⑨ 内花の形の違ったものを、3種紹介します。

- ⑩⑪⑫ の折り方は、前と同じです。

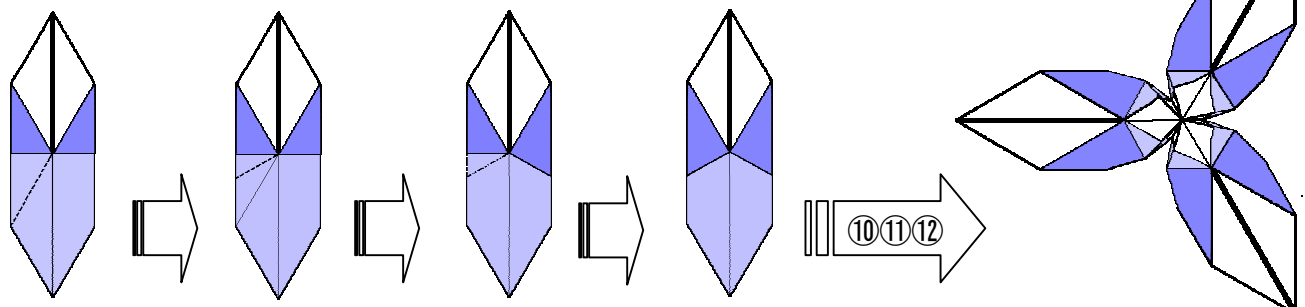
[その1] 内花を折り曲げて作る



[その2] 内花を押し込んで作る



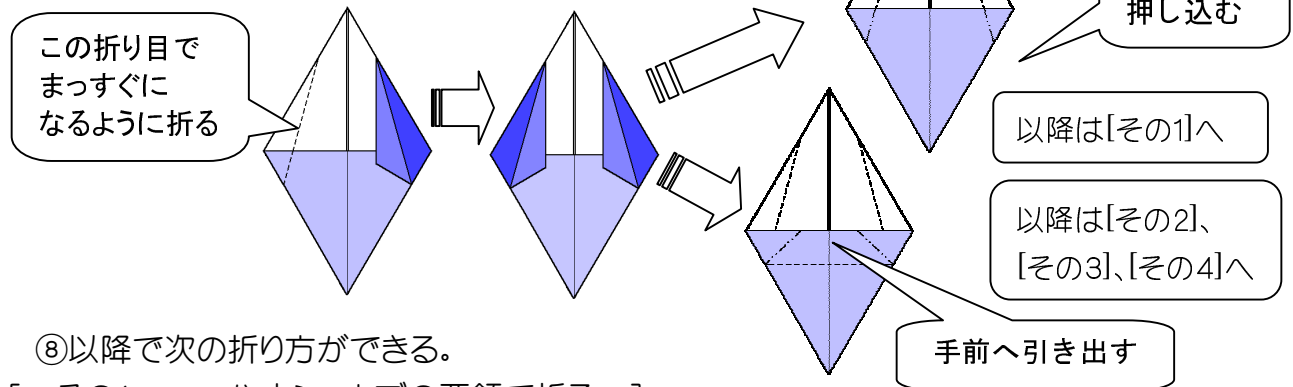
[その3] 別の方法で内花を押し込んで作る



[その1]の中に[その2]または[その3]がうまく収まるので、この組み合わせで6弁花が出来ます。

<B.縦に広く色抜きを残す>

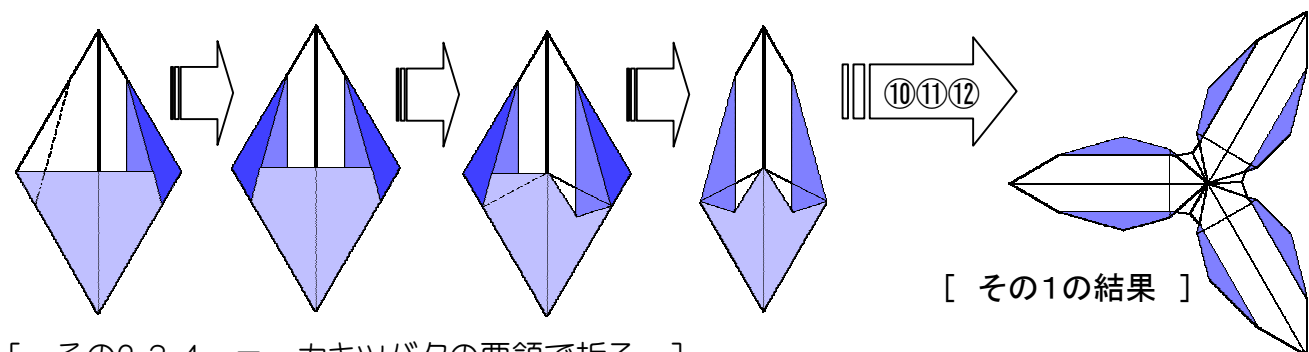
- ⑦ 花弁を図のように中心と平行になる場所で
折り目をしっかりとつけ、広げる。



- ⑧以降で次の折り方ができる。

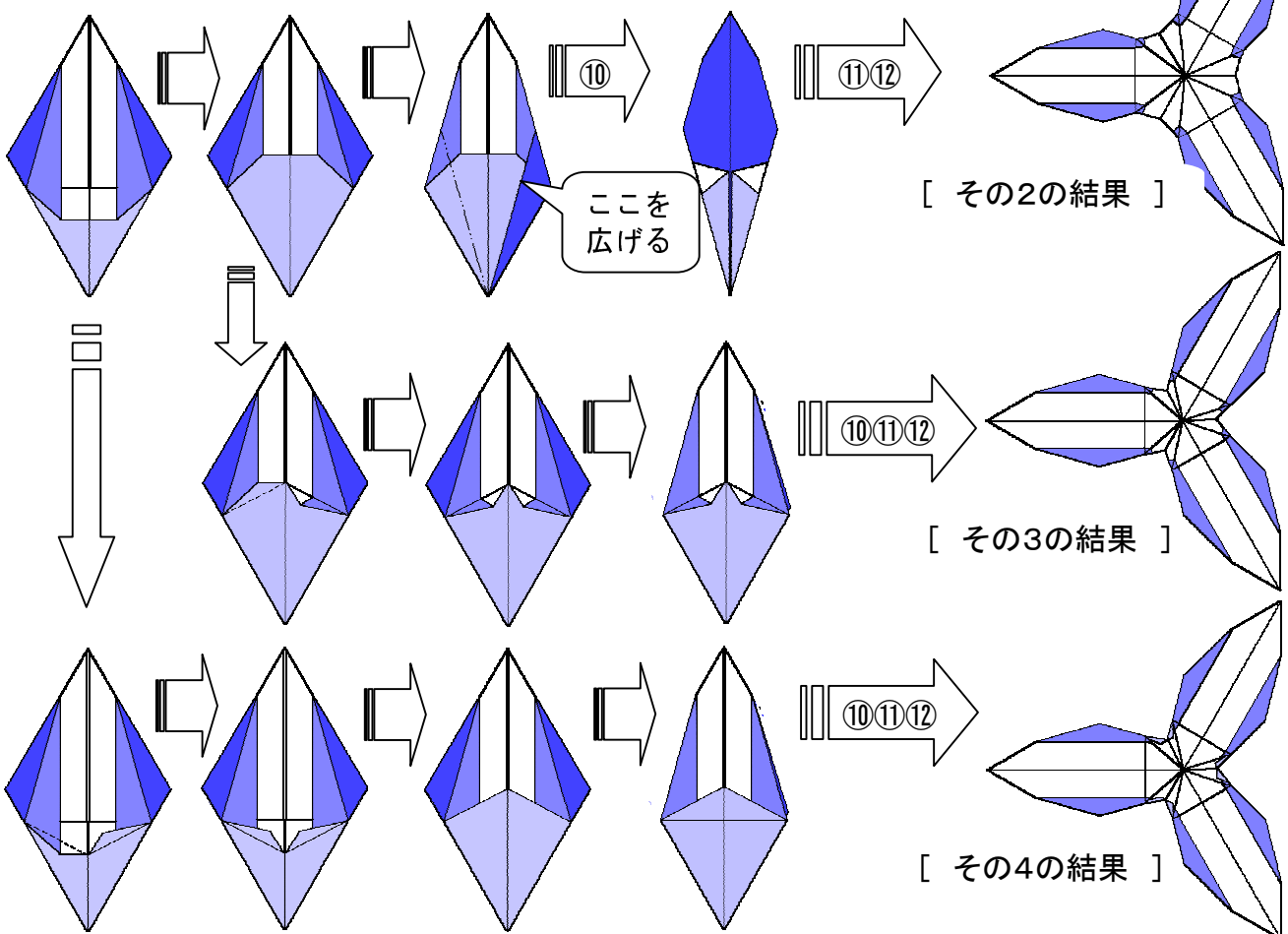
[その1 = ハナショウブの要領で折る]

- ⑧⑨ ここでハナショウブの要領で折り曲げ、内花を作り、⑩⑪⑫は以前と同じ要領で仕上げる。



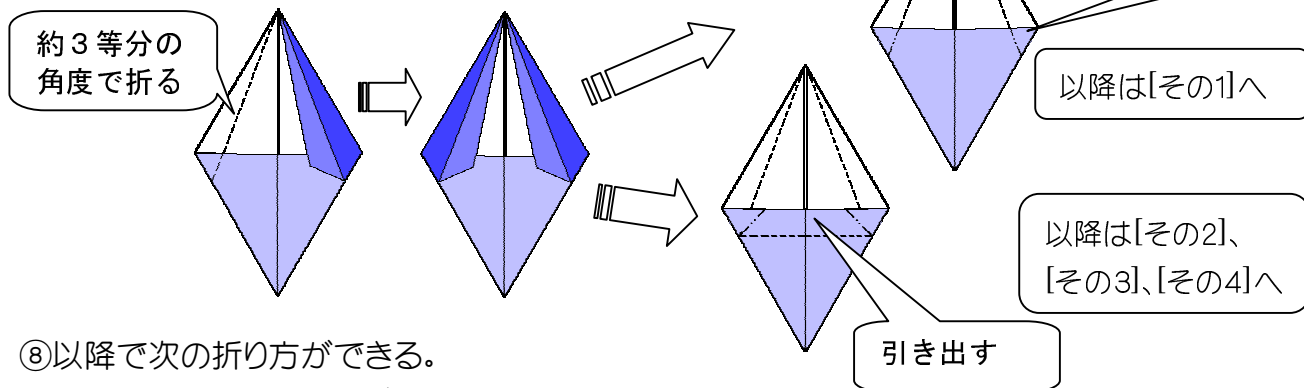
[その2,3,4 = カキツバタの要領で折る]

- ⑧⑨ 図のように、折り返してからそのまま ⑩⑪⑫ は以前と同じ要領で仕上げる。



<C.斜めに色抜きを残す>

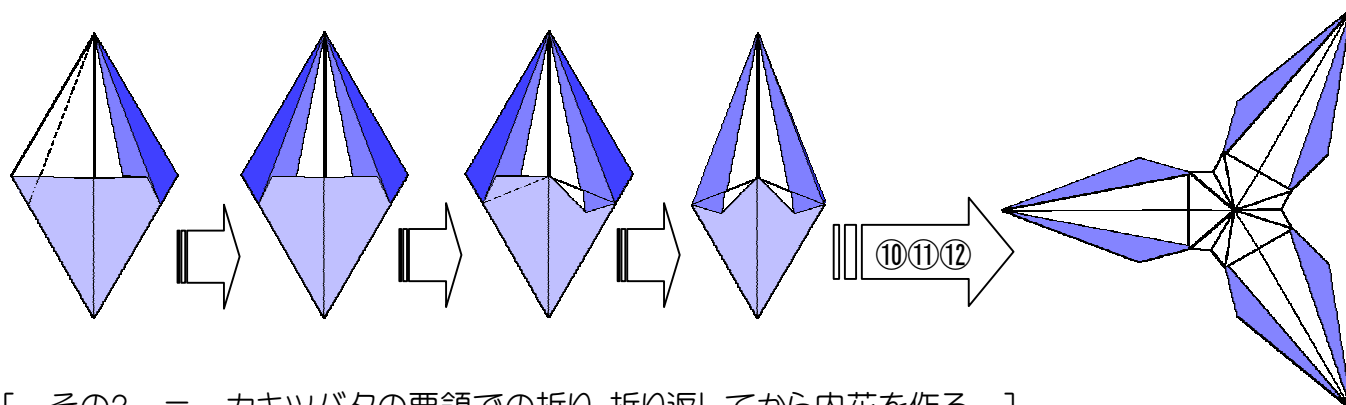
- ⑦ 花弁を図のように横幅の 1/3 ぐらいのところで折り目をしっかりとつけ、広げる。



- ⑧以降で次の折り方ができる。

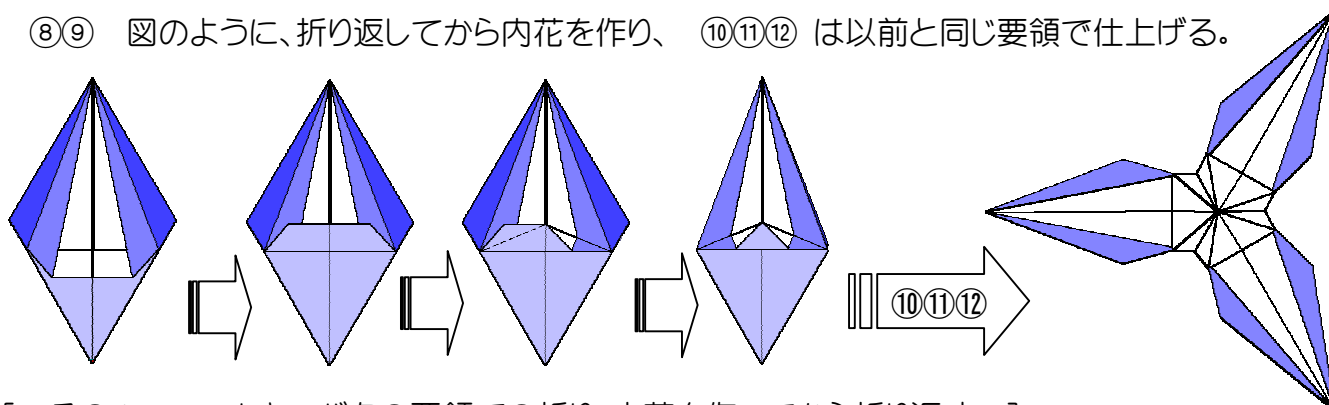
[その1 = ハナショウブの要領で折る]

- ⑧⑨ ここでハナショウブの要領で折り曲げ、内花を作り、⑩⑪⑫ は以前と同じ要領で仕上げる。



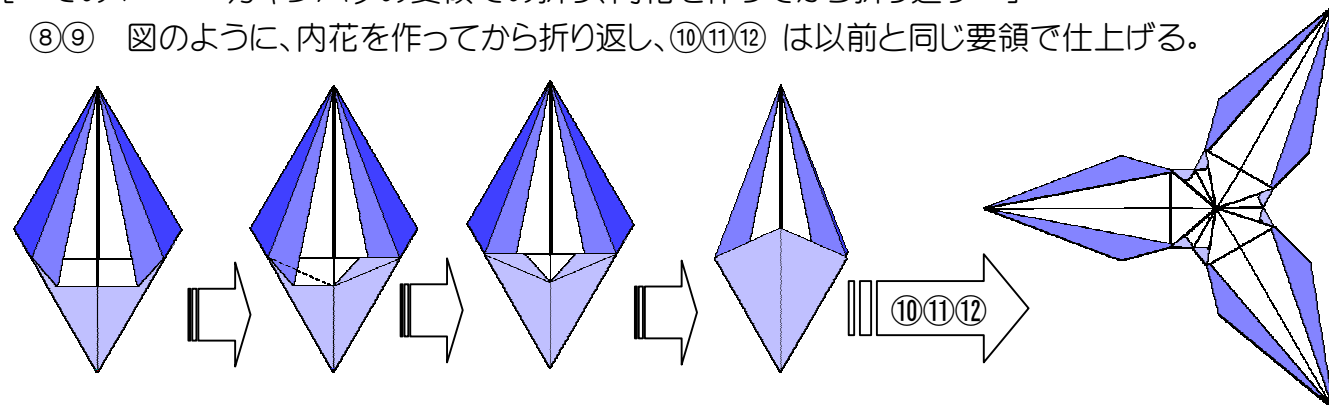
[その2 = カキツバタの要領での折り、折り返してから内花を作る]

- ⑧⑨ 図のように、折り返してから内花を作り、⑩⑪⑫ は以前と同じ要領で仕上げる。



[その4 = カキツバタの要領での折り、内花を作ってから折り返す]

- ⑧⑨ 図のように、内花を作ってから折り返し、⑩⑪⑫ は以前と同じ要領で仕上げる。



[その1]の中に[その2]または[その3]がうまく収まるので、この組み合わせで6 弁花が出来ます。